

1 全教科を通して

下の表1は、これまでの「学生による授業評価」の各項目における全教科の平均点数の推移です。この表をみてもわかるとおり、16項目中、15項目で2008年度前期を上回っています。「学習に適した環境が保たれていた」は、前回と比べると1ポイント減少しています。特に評価が高かった項目としては、「教員の熱意」(4.24ポイント)、「この授業を受けてよかった」(4.19ポイント)、「シラバスが授業に反映していた」(4.07ポイント)、「学生からの質問に答えようとする姿勢」(4.06ポイント)、「教員の声が聞き取りやすい」(4.05ポイント)があげられます。その一方、「十分に準備して授業に出席した」(3.64ポイント)、「様々な視点で分析・応用が可能になった」(3.76ポイント)、「学習に適した環境が保たれていた」(3.78ポイント)は、やや低い評価に留まっています。

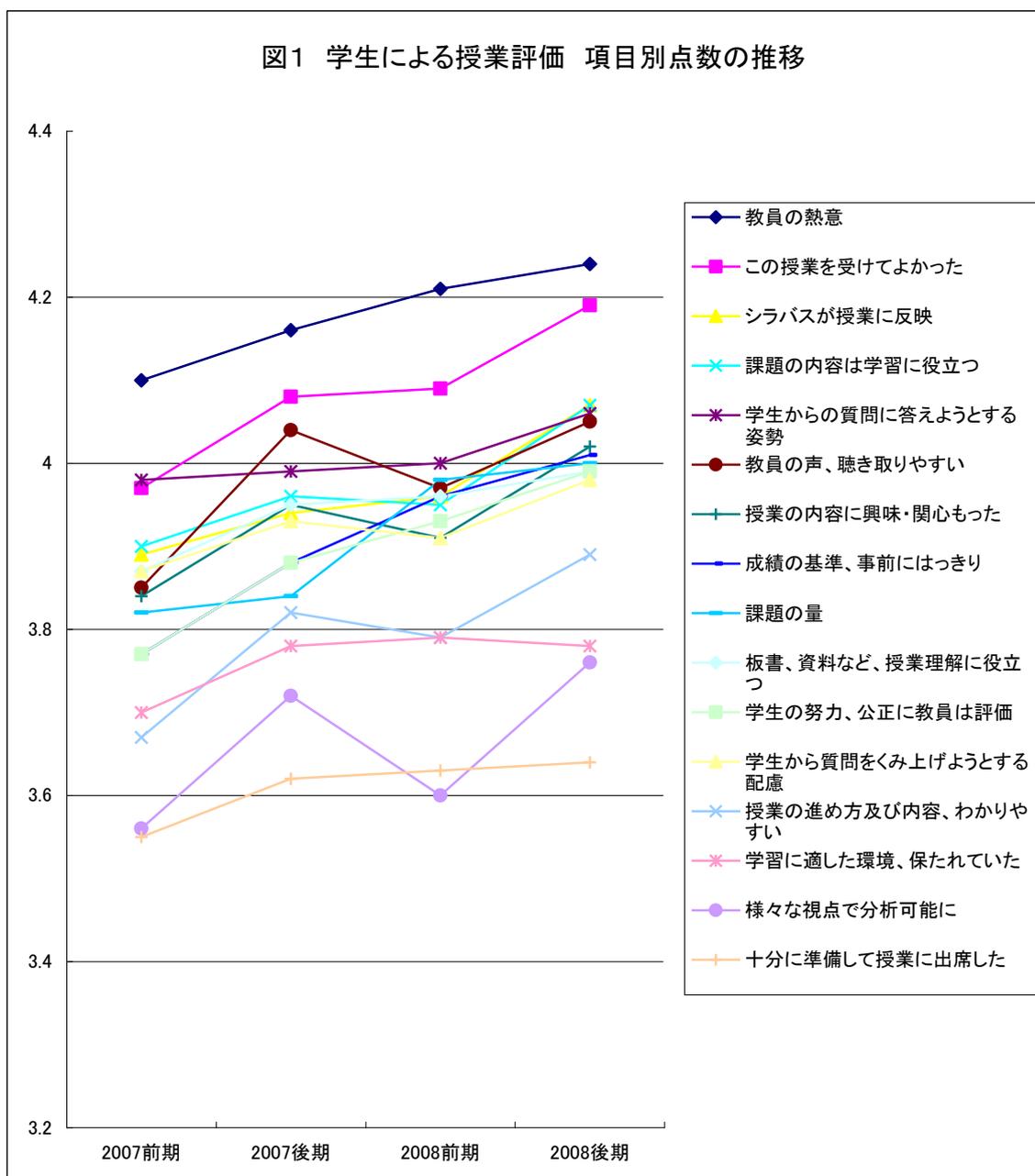
表1 年度及び学期における「学生による授業評価」の項目別点数

質問項目	2006年度 前期	2006年度 後期	2007年度 前期	2007年度 後期	2008年度 前期	2008年度 後期	前回と の比較
教員の熱意	4.17	4.15	4.1	4.16	4.21	4.24	↑
この授業を受けてよかった	4.05	4.05	3.97	4.08	4.09	4.19	↑
学生からの質問に答えようとする姿勢			3.98	3.99	4.00	4.06	↑
課題の量	3.94	3.95	3.82	3.84	3.98	4.00	↑
教員の声、聴き取りやすい	4.06	3.97	3.85	4.04	3.97	4.05	↑
シラバスが授業に反映	3.84	3.92	3.89	3.94	3.96	4.07	↑
板書、資料など、授業理解に役立つ	3.88	3.92	3.87	3.95	3.96	3.99	↑
成績の基準、事前にはっきり	3.79	3.83	3.77	3.88	3.96	4.01	↑
課題の内容は学習に役立つ	3.9	4	3.9	3.96	3.95	4.07	↑
学生の努力、公正に教員は評価	3.77	3.81	3.77	3.88	3.93	3.99	↑
授業の内容に興味・関心もった	3.86	3.87	3.84	3.95	3.91	4.02	↑
学生の質問に対する教員の工夫	3.72	3.71					
学生から質問をくみ上げようとする配慮			3.87	3.93	3.91	3.98	↑
授業の進め方及び内容、わかりやすい	3.73	3.76	3.67	3.82	3.79	3.89	↑
学習に適した環境、保たれていた	3.77	3.64	3.7	3.78	3.79	3.78	↓
十分に準備して授業に出席した	3.49	3.42	3.55	3.62	3.63	3.64	↑
様々な視点で分析・応用可能に	3.59	3.67	3.56	3.72	3.60	3.76	↑

2 「学生による授業評価」の項目別点数の推移

図1は、「学生による授業評価」の2007年前期からの各項目別点数の推移です。この図をみてもわかるように、「教員の熱意」「この授業を受けてよかった」の評価は、これまで高い評価が得られてきていることがわかります。しかし、「十分に準備して授業に出席した」「様々な視点で分析・応用が可能になった」「学習に適した環境が保たれていた」は、やや低い評価が続いていることがわかります。

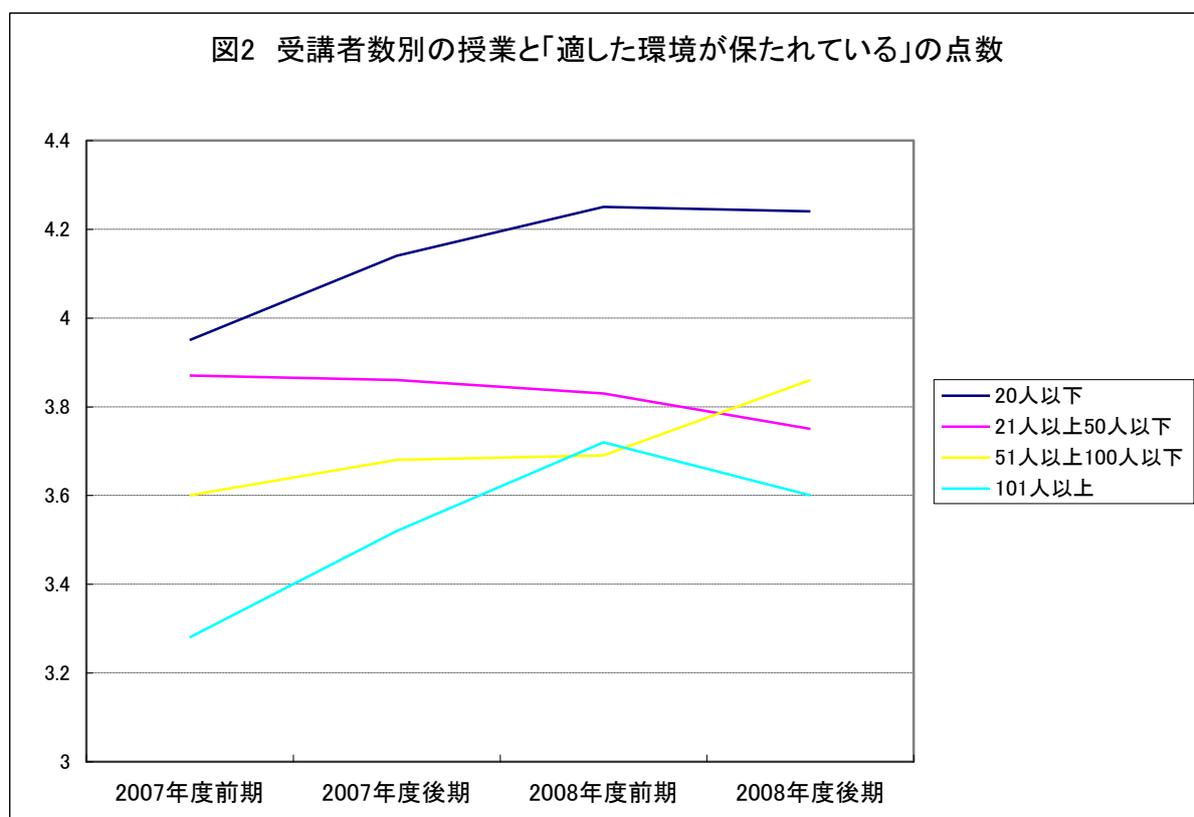
なお、対象科目数は、2007年度前期は267科目、2007年度後期は566科目、2008年度前期は96科目、2008年度後期は136科目でした。



3 「学習に適した環境が保たれていた」についての学生評価と受講生数別の教科

先ほどみたように、「学習に適した環境が保たれていた」は低い評価に留まっている項目の一つです。受講生数別の教科でみると、どのような評価になっているのかをみたいと思います。

図2は、受講者数別の授業で「学習に適した環境が保たれていた」の評価項目が、これまで、どのような学生による評価を得たかを示しています。これをみてもわかるとおり、「20人以下の受講生の授業」では、現在、4以上であるのに対して、「101人以上の受講生の授業」ではそれを0.4ポイント、下回っています。



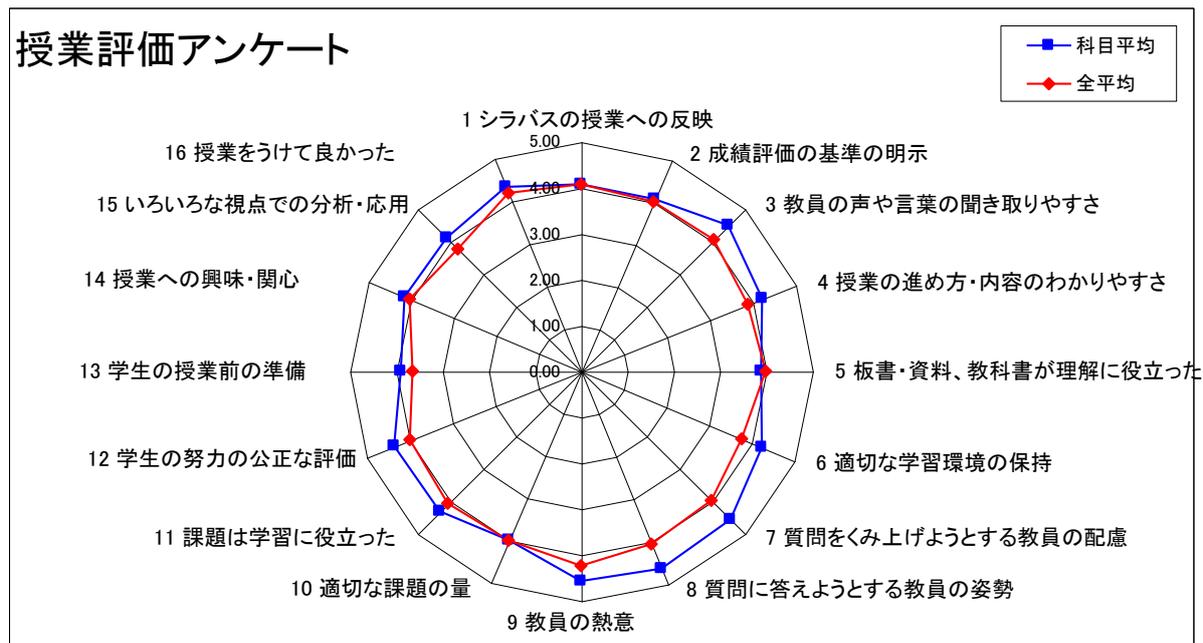
4 基礎科目の評価結果

①文献講読演習 (対象科目数 4 回答者数 28)

全教科全項目の平均(以下、全平均)が、3.98 ポイントだったのに対して、文献講読演習の全項目の平均(以下、科目平均)は4.25ポイントであり、0.27ポイント上回ってます。特に、「学生からの質問に答えようとする教員の姿勢が見られた」は、4.64 ポイントと高い評価を得ています。

設問内容	1	2	3	4	5	NA	科目平均	全平均
	1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う NA:該当しない							
1 授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	0	0	6	14	8	0	4.07	4.07
2 成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	0	1	4	15	8	0	4.07	4.01
3 教員の声や言葉は聞き取りやすかった	0	1	1	9	17	0	4.50	4.05
4 この授業の進め方及び内容はわかりやすかった	0	2	2	11	12	0	4.22	3.89
5 板書・資料(OHP、パワーポイント、VTR等含む)及び授業で使用した教科書等は授業内容の理解に役立った	2	0	6	11	9	0	3.89	3.99
6 学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入りなどへの対応は適切であった)	0	1	3	12	12	0	4.25	3.78
7 学生からの質問をくみ上げようとする教員の配慮がなされていた	0	0	2	8	18	0	4.57	3.98
8 学生からの質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	0	0	2	6	20	0	4.64	4.06
9 教員の熱意が感じられた	0	0	2	8	18	0	4.57	4.24
10 課題の量(発表・レポート・制作・宿題等)は適切だった	1	1	4	13	9	0	4.00	4.00
11 課題の内容は学習に役立った	1	1	1	10	15	0	4.32	4.07
12 学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	0	1	3	9	15	0	4.36	3.99
13 自分は十分に準備をして授業に出席した	0	3	7	8	10	0	3.89	3.64
14 授業の内容に興味・関心をもった	0	1	4	13	10	0	4.14	4.02
15 授業で扱った事柄に対していろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	0	1	5	12	10	0	4.11	3.76
16 この授業を受けてよかったと思う	1	0	2	10	14	0	4.33	4.19
総平均							4.25	3.98
17 教員からの設問	0	0	0	0	1	0		
18 教員からの設問	0	0	0	0	0	0		

授業評価アンケート

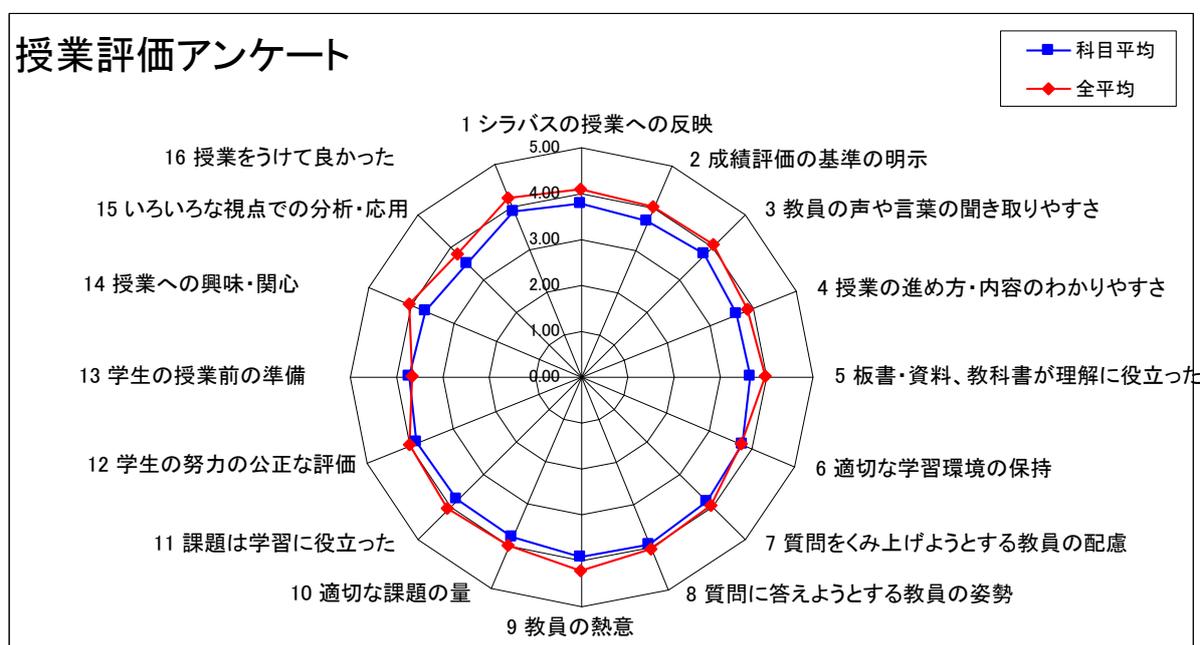


②英語科目 (対象科目数7 回答者数 239)

英語科目の科目平均は、3.76ポイントであり、全平均の3.98ポイントを若干、下回っています。

設問内容	1	2	3	4	5	NA	科目平均	全平均
	1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う NA:該当しない							
1 授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	2	6	84	99	46	1	3.76	4.07
2 成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	3	15	84	92	45	0	3.67	4.01
3 教員の声や言葉は聞き取りやすかった	6	27	45	95	63	0	3.77	4.05
4 この授業の進め方及び内容はわかりやすかった	12	20	63	91	52	0	3.63	3.89
5 板書・資料(OHP、パワーポイント、VTR等含む)及び授業で使用した教科書等は授業内容の理解に役立った	6	22	71	80	55	5	3.67	3.99
6 学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入りなどへの対応は適切であった)	5	11	64	105	53	0	3.80	3.78
7 学生からの質問をくみ上げようとする教員の配慮がなされていた	2	15	57	102	60	0	3.86	3.98
8 学生からの質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	2	10	52	105	68	0	3.96	4.06
9 教員の熱意が感じられた	5	11	51	96	74	0	3.94	4.24
10 課題の量(発表・レポート・制作・宿題等)は適切だった	4	5	62	80	46	42	3.81	4.00
11 課題の内容は学習に役立った	3	11	66	95	50	13	3.79	4.07
12 学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	1	11	60	87	49	30	3.83	3.99
13 自分は十分に準備をして授業に出席した	3	14	77	99	44	2	3.70	3.64
14 授業の内容に興味・関心をもった	4	19	79	92	44	0	3.64	4.02
15 授業で扱った事柄に対していろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	4	18	112	70	34	1	3.47	3.76
16 この授業を受けてよかったと思う	5	9	57	95	61	0	3.87	4.19
総平均							3.76	3.98
17 教員からの設問	0	0	2	2	1	0		
18 教員からの設問	0	0	0	2	1	0		

授業評価アンケート

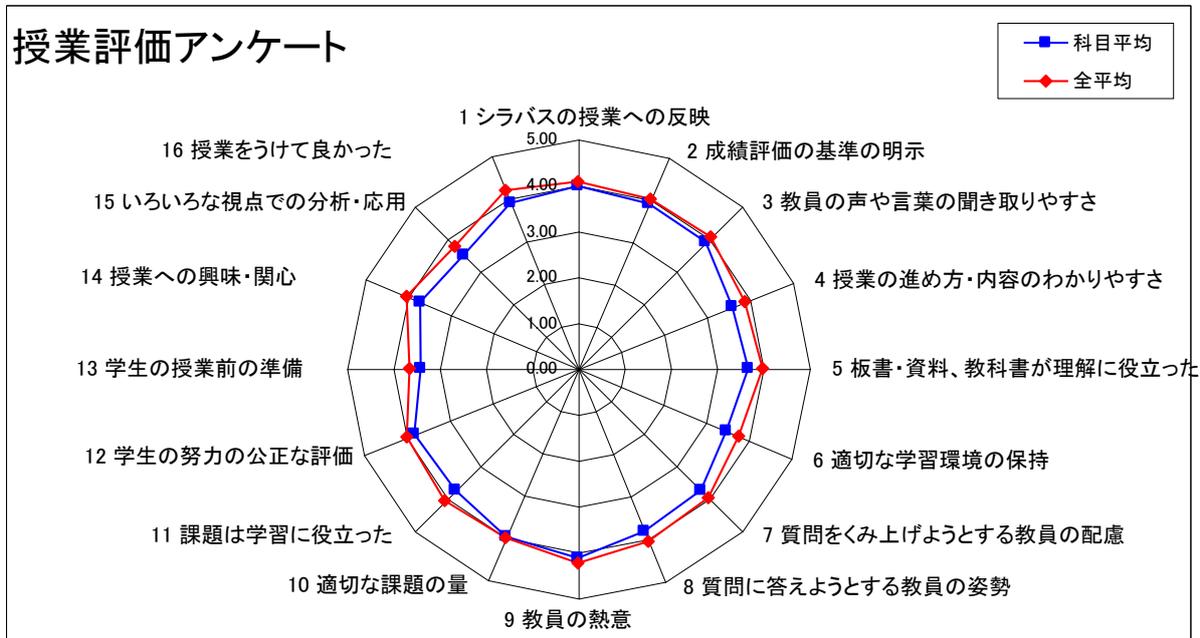


③ 現代教養 (対象科目数 11 回答者数 941)

現代教養の科目平均は、3.77 ポイントであり、全平均の 3.98 ポイントをやや下回っています。特に、「学習に適した環境が保たれていた」(3.49 ポイント)、「自分は十分に準備をして授業に出席した」(3.49 ポイント)が低い評価でした。

設問内容	1	2	3	4	5	NA	科目平均	全平均
	1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う NA:該当しない							
1 授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	8	24	235	390	283	0	3.97	4.07
2 成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	10	51	239	356	284	0	3.91	4.01
3 教員の声や言葉は聞き取りやすかった	15	84	198	324	317	0	3.90	4.05
4 この授業の進め方及び内容はわかりやすかった	31	103	288	302	212	0	3.60	3.89
5 板書・資料(OHP、パワーポイント、VTR等含む)及び授業で使用した教科書等は授業内容の理解に役立った	24	80	298	295	235	5	3.68	3.99
6 学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入りなどへの対応は適切であった)	26	99	337	347	131	1	3.49	3.78
7 学生からの質問をくみ上げようとする教員の配慮がなされていた	16	61	299	316	240	1	3.75	3.98
8 学生からの質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	15	55	276	328	265	1	3.82	4.06
9 教員の熱意が感じられた	14	27	176	324	392	0	4.13	4.24
10 課題の量(発表・レポート・制作・宿題等)は適切だった	10	24	203	238	266	188	3.98	4.00
11 課題の内容は学習に役立った	13	41	296	311	201	67	3.75	4.07
12 学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	13	33	305	343	236	2	3.81	3.99
13 自分は十分に準備をして授業に出席した	26	106	399	232	144	28	3.40	3.64
14 授業の内容に興味・関心をもった	22	65	281	369	200	0	3.70	4.02
15 授業で扱った事柄に対していろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	20	91	380	298	145	0	3.49	3.76
16 この授業を受けてよかったと思う	19	46	224	340	273	0	3.89	4.19
総平均							3.77	3.98
17 教員からの設問	2	8	36	50	38	0		
18 教員からの設問	0	0	9	8	7	0		

授業評価アンケート



5 授業の形態別の評価結果

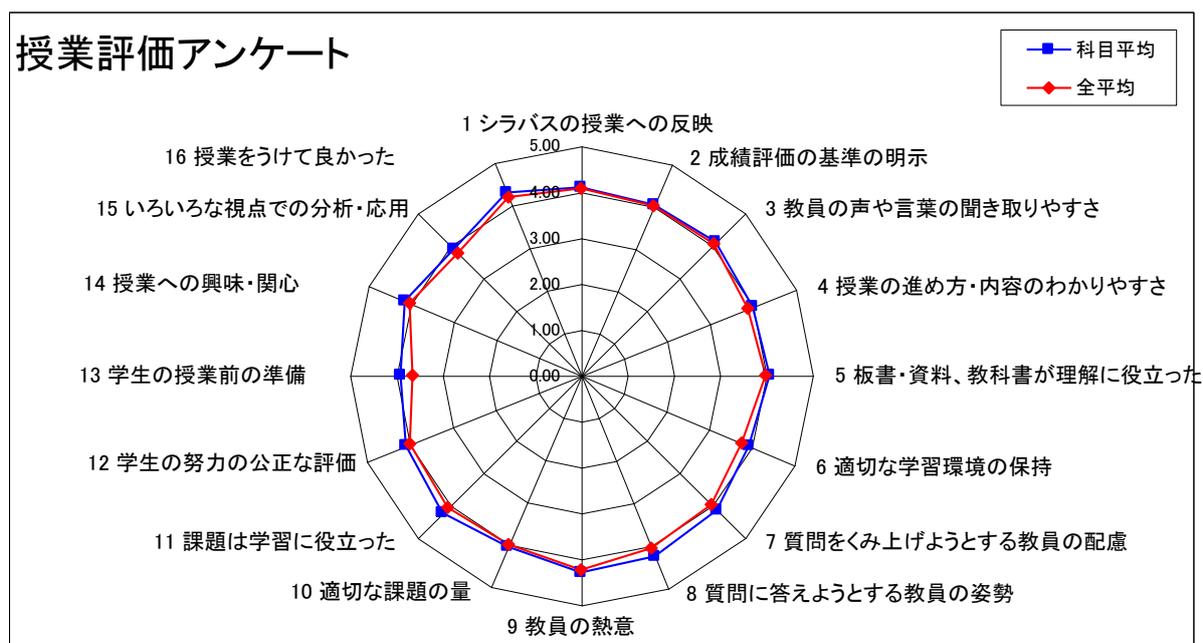
①演習科目 (対象科目数 37 回答者数 1293)

演習科目の科目平均は 4.10 ポイントと、全平均の 3.98 ポイントを若干、上回っていました。

「学生からの質問に答えようとする教員の姿勢が見られた」(4.26 ポイント)、「自分は十分に準備をして授業に出席した」(3.90 ポイント)が高い評価を受けていました。

設問内容	1	2	3	4	5	NA	科目平均	全平均
	1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う NA:該当しない							
1 授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	6	12	272	564	434	1	4.09	4.07
2 成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	7	34	287	535	428	0	4.04	4.01
3 教員の声や言葉は聞き取りやすかった	23	79	182	449	552	0	4.11	4.05
4 この授業の進め方及び内容はわかりやすかった	30	68	235	485	463	0	4.00	3.89
5 板書・資料(OHP、パワーポイント、VTR等含む)及び授業で使用した教科書等は授業内容の理解に役立った	21	43	229	496	475	23	4.08	3.99
6 学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入りなどへの対応は適切であった)	15	70	297	504	406	0	3.94	3.78
7 学生からの質問をくみ上げようとする教員の配慮がなされていた	9	48	211	490	529	0	4.15	3.98
8 学生からの質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	9	31	174	478	598	0	4.26	4.06
9 教員の熱意が感じられた	13	30	171	415	649	0	4.30	4.24
10 課題の量(発表・レポート・制作・宿題等)は適切だった	14	26	246	483	405	106	4.06	4.00
11 課題の内容は学習に役立った	10	32	168	468	547	57	4.23	4.07
12 学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	8	40	241	516	450	31	4.08	3.99
13 自分は十分に準備をして授業に出席した	13	51	341	509	353	21	3.90	3.64
14 授業の内容に興味・関心をもった	17	52	203	487	531	0	4.13	4.02
15 授業で扱った事柄に対していろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	14	60	331	533	352	1	3.89	3.76
16 この授業を受けてよかったと思う	20	33	148	404	638	1	4.29	4.19
総平均							4.10	3.98
17 教員からの設問	0	0	7	20	30	0		
18 教員からの設問	0	1	11	21	20	0		

授業評価アンケート

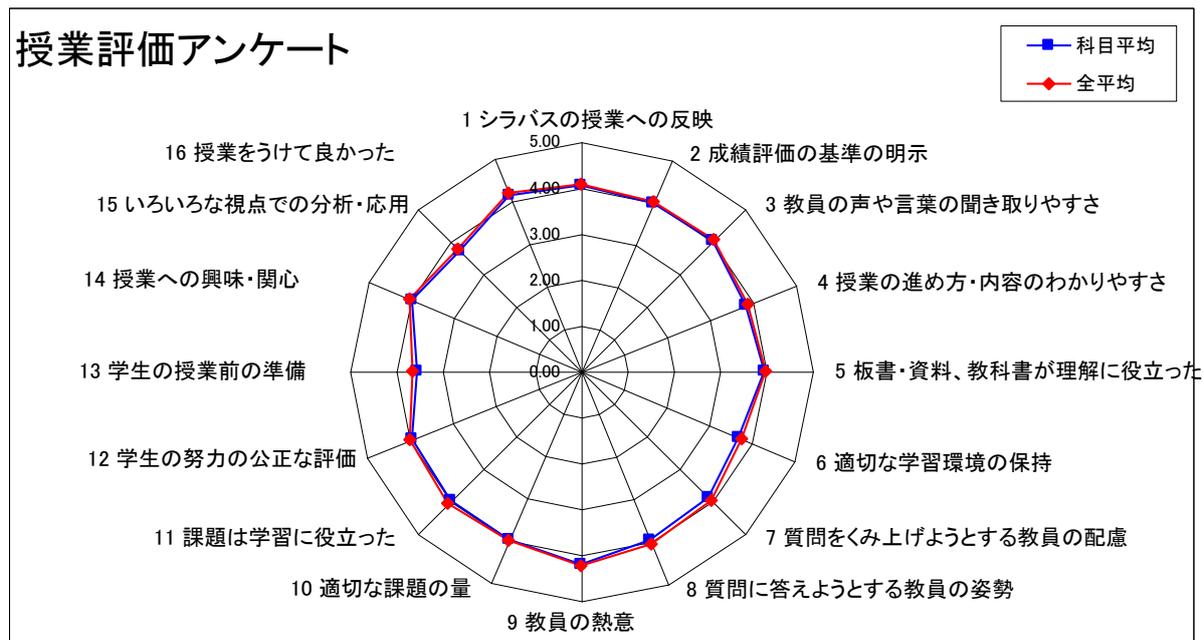


②講義系科目 (対象科目 73 回答者数 3978)

講義系科目の科目平均は、3.93 ポイントで、全平均の 3.98 ポイントとほぼ同じでした。「自分は十分に準備をして授業に出席した」(0.1 ポイント・マイナス)、「学生からの質問をくみ上げようとする教員の配慮がなされていた」(0.09 ポイント・マイナス)、「学生からの質問に答えようとする教員の姿勢が見られた」(0.09 ポイント・マイナス)、「学習に適した環境が保たれていた」(0.08 ポイント・マイナス)が全科目の各項目の平均点と差がある項目でした。

設問内容	1	2	3	4	5	NA	科目平均	全平均
	1:全くそう思わない 2:そう思わない 3:どちらともいえない 4:そう思う 5:強くそう思う NA:該当しない							
1 授業の概要と目的(シラバス)が授業に反映されていた	15	55	870	1762	1217	54	4.05	4.07
2 成績評価の基準が事前にはっきりと示されていた	27	140	968	1590	1250	0	3.98	4.01
3 教員の声や言葉は聞き取りやすかった	46	235	763	1458	1464	0	4.02	4.05
4 この授業の進め方及び内容はわかりやすかった	82	281	989	1457	1146	0	3.84	3.89
5 板書・資料(OHP、パワーポイント、VTR等含む)及び授業で使用した教科書等は授業内容の理解に役立った	54	204	910	1457	1330	12	3.96	3.99
6 学習に適した環境が保たれていた(私語・居眠り・学生の出入りなどへの対応は適切であった)	84	307	1211	1505	868	1	3.70	3.78
7 学生からの質問をくみ上げようとする教員の配慮がなされていた	46	183	1057	1456	1152	58	3.89	3.98
8 学生からの質問に答えようとする教員の姿勢が見られた	37	155	990	1514	1277	1	3.97	4.06
9 教員の熱意が感じられた	32	66	661	1451	1715	6	4.21	4.24
10 課題の量(発表・レポート・制作・宿題等)は適切だった	31	63	678	898	861	1391	3.99	4.00
11 課題の内容は学習に役立った	31	75	739	992	926	1161	3.98	4.07
12 学生の努力が公正に評価されるよう教員の配慮がなされていた	35	102	1084	1503	1152	75	3.94	3.99
13 自分は十分に準備をして授業に出席した	71	331	1519	1075	704	268	3.54	3.64
14 授業の内容に興味・関心をもった	55	160	909	1565	1276	1	3.97	4.02
15 授業で扱った事柄に対していろいろな視点からとらえ、分析又は応用できるようになった	46	240	1385	1450	842	2	3.71	3.76
16 この授業を受けてよかったと思う	43	106	712	1381	1555	1	4.13	4.19
総平均							3.93	3.98
17 教員からの設問	5	10	50	77	68	0		
18 教員からの設問	1	1	20	27	30	0		

授業評価アンケート



6 まとめ

2007年度に全教科にわたって実施した「学生による授業評価」の結果をもとに、2008年度は教員が2科目を選び、授業評価を受ける形で、学生による授業評価が行われました。対象となる科目が異なるため単純な比較はできませんが、図1をみると、ほとんどの項目で右上がりになっているようにみえます。しかし、「十分に準備して授業に出席した」「様々な視点で分析・応用が可能になった」「学習に適した環境が保たれていた」は、低いままに留まっています。

今回、「学習に適した環境が保たれていた」の点数が、受講者数別の科目でみるとどのように異なるかについて考察しました。その結果、「101人以上の授業科目」は、低い点数に留まっていました。学生の一人一人が、授業を通して十分に学んでいただくためにも、私語、居眠り、学生の出入りなどについては適切に教員が対処することが求められます。特に、受講生が多い教科では適切な環境を保つことが、少人数の受講生の科目と比べて難しい状況にあることがわかりました。多数の受講生がいる科目であっても、学生が真剣に学習に取り組むことのできる環境を保てるように、大学教育FDセンターではその施策を考えていきたいと思えます。

また、授業の評価項目について、学生がどのように評価したらよいかわからないという場合もあると思えます。それぞれの評価項目は、大学教育FDセンターのメンバーが練ってきたものですが、例えば「様々な視点で分析又は応用が可能になった」という項目は、細かい説明がいるのではないかと思います。現代教養の科目でしたら、複雑化する社会について、自分が将来つきたい仕事との関係で深く考えることができるようになったとか、英語科目でしたら、各自の専門性と結びつけて、海外のことにも興味をもつようになったとか、そのような視点で回答していただくことを期待しています。今後より十分に、学生に対して、授業評価の意義、方法を説明することが大切であると思えます。また、学生による授業評価のカードで、表現が難しすぎるものや、新設した方がよい質問項目については、継続してセンターで検討していきます。

2008年度後期からは、教員が相互に授業参観をしながら、授業の力を伸ばすという取り組みが新しく始まりました。この取り組みでは、専任教員間で授業の進め方、教材、板書等について学び合うことを目的としています。

大学教育FDセンターでは、今後も様々な取り組みを通して、大学全体としてよりよい授業を行うことができるようにしていきたいと思っています。